



高浜町総合計画 概要版

Takahama Comprehensive planning



くるむ つなぐ かがやく

～自然とともにある暮らし 若狭たかはま～

はじめに

この度、住民の皆さまをはじめ多くの方々のご協力を得て、令和12年度（西暦2030年）を目標年次とする「高浜町総合計画」を策定することができました。策定にあたっては、アンケート調査や意見交換会、パブリックコメントなど、多くの住民の皆さまから貴重なご意見を頂戴しました。また、総合計画町民ワーキング委員会、総合計画審議会の委員の皆さまには、10年後のめざす姿の検討や持続可能な地域社会の実現に向けてのご提言など、熱心にご意見、ご審議を頂きました。ご協力頂きました多くの住民の皆さまに心より感謝申し上げます。



高浜町を取り巻く環境は、人口減少による担い手不足をはじめ、デジタル技術の革新、大規模災害や感染症等のリスク、原子力発電所の廃炉など、大きな変化の波にさらされようとしており、右肩上がりの時代に構築してきた地域の様々な在り方や行政システムを持続可能なものに転換しなければ、地域の暮らしそのものや行政を維持することが難しくなる局面を迎えようとしています。

新たな計画では、豊かな自然や地域のつながりを活かしながら、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりを目指し、「くるむ つなぐ かがやく 自然とともにある暮らし 若狭たかはま」を10年後のまちの将来像として掲げました。

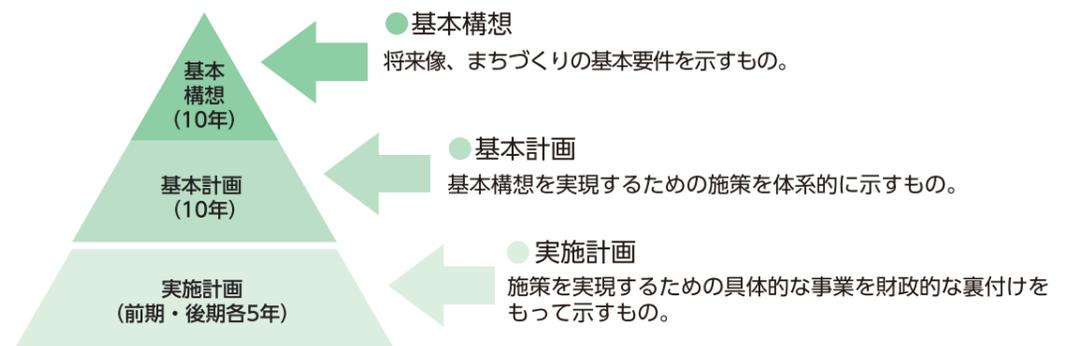
この将来像を住民の皆さまと共有しつつ、人や地域が多様につながり合い、暮らしの安心感や住み心地の良さ、生活の豊かさを実感できる持続可能な地域としていくため、多様な活動が育まれる、連携・協力による「協働のまちづくり」を推進していくこととしております。

この総合計画をもとに、経済・社会・環境の調和を保ち、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりを進め、将来にわたって、私たちみんなが高浜町での暮らしにひとつ先の豊かさを感じられることを目指し、諸施策を推進して参りますので、住民の皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

令和3年3月
高浜町長 野瀬 豊

高浜町総合計画とは

基本構想、基本計画、実施計画で構成する、高浜町における総合的かつ計画的な行政運営を図るための最上位の計画です。



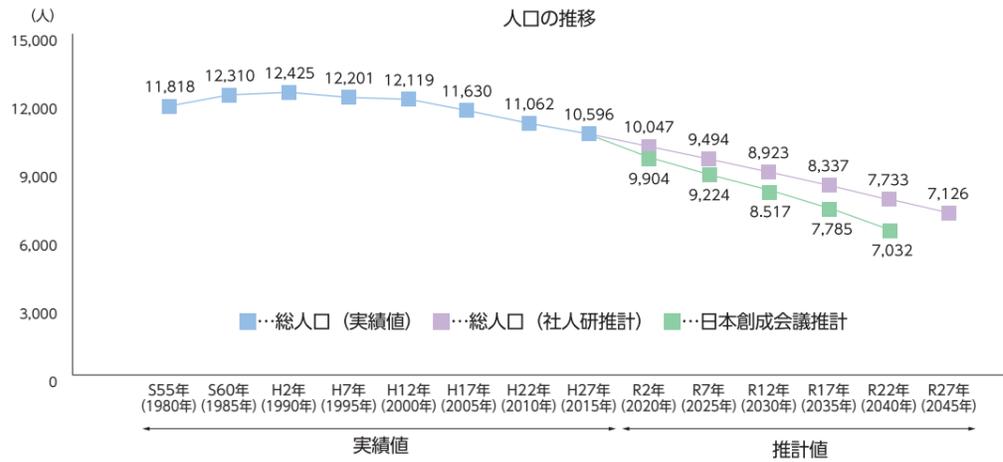
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
基本構想										令和12年度まで
基本計画					見直し					令和12年度まで
前期実施計画		進捗把握と必要に応じた見直し			令和7年度まで	後期実施計画	進捗把握と必要に応じた見直し			令和12年度まで

10年の町づくり

高浜町を取り巻く概況

人口減少は今後も継続し、本計画期末の令和12(2030)年には8,923人、令和27(2045)年には、7,126人と2015年から約30%減少すると見込まれています。社会情勢が大きく変化する中、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりを進めていく必要があります。

人口



出典:実績値は国勢調査各年(1980~2015年)
推計値は国立社会保障人口問題研究所(H30(2018)年推計)、日本創成会議(H26(2014)年5月推計)

社会情勢

- ・持続可能な社会づくりを『誰一人取り残さず』に進める時代へ
- ・一人ひとりが尊重され、誰もがもっと『自分らしく活躍できる』時代へ
- ・様々な「技術革新」が、人々の生活に『劇的な変革』をもたらす時代へ
- ・大規模自然災害や感染症等のリスクへの『対応力』を培う時代へ
- ・人口減少社会で持続可能な『自治の姿』に転換する時代へ



まちづくりの主な課題

- 保健・医療・福祉・防災分野**
 - ・地域医療体制の堅持を図るとともに、住民活動や協働の推進に向け、多様な人の参画を促す仕組み等が求められます。
- 産業振興・観光振興分野**
 - ・地域資源を活かし、住民・行政・事業者等の多様な主体との関わりで産業や観光の新たな魅力を創出していくことが求められます。
- 住環境整備分野**
 - ・安全・快適な住環境づくり、高浜漁港エリアの再生をはじめとする地場産業の活性化と観光拠点形成による賑わいの創出が求められます。
- 環境保全分野**
 - ・国際環境認証「ブルーフラッグ」をはじめとする官民一体となった環境保全活動の継続や海・里山等の環境保全を通じて地域が活性化する仕組みが求められます。
- 子育て・教育・協働分野**
 - ・地域で安心して子育てができ、学びや多様な活動を誰もが生涯を通じて楽しめる環境をさらに充実させることが求められます。

計画の推進

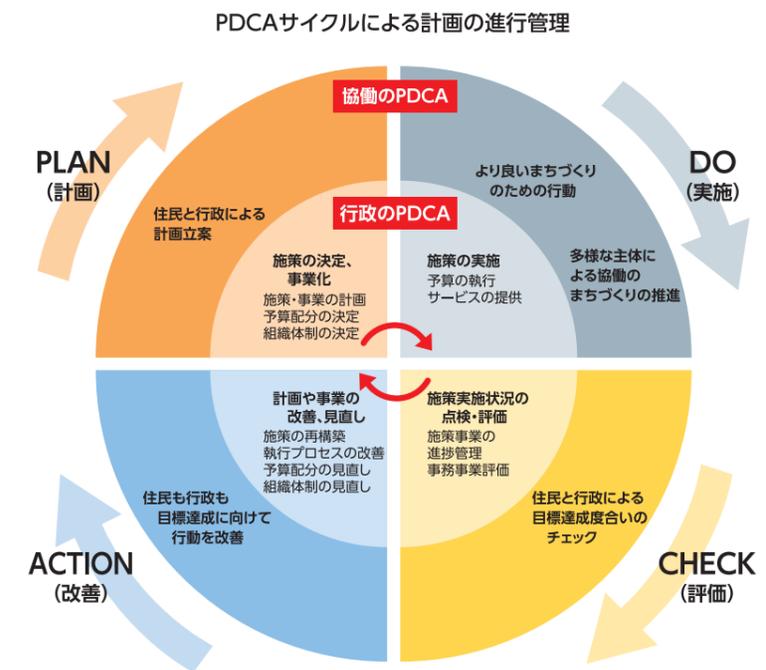
将来像の実現に向けて、次の点に留意して総合計画を推進します。

計画全体の進行管理

- ・基本計画は施策の指標の経年変化、進捗状況を5年後の令和7(2025)年度に後期5年間の必要な見直しを行います。
- ・実施計画は、毎年度、おおむね3年間の進捗把握と必要に応じた見直しを行います。

計画の効果的な推進

- ・総合計画(PLAN)を軸に施策を推進し(DO)、その実施状況を点検・評価(CHECK)、必要に応じて改善や見直しを行い(ACTION)、次の展開に反映(PLAN)していく、PDCAサイクルによる計画の進行管理を行います。
- ・実施計画と予算、事務事業評価が連動した、毎年の計画見直しを見据えた仕組みを構築し、効率的な行政運営の実現を図ります。



高浜町はこんな町!

- ・高浜町は福井県の最西端に位置し、東南は福井県おおい町、西は京都府舞鶴市に接しています。町内には8kmの砂浜に8つのビーチをはじめ、若狭富士と称される「青葉山」や日本の「快水浴場百選」、「夕陽百選」、「棚田百選」など多くの景勝地がある、風光明媚でコンパクトな町です。



人口 10,132人 (R3.3末)
世帯 4,334世帯 (R3.3末)
面積 72.40 km²

高浜町総合計画

発行日：令和3(2021)年3月
編集・発行：高浜町総合政策課
〒919-2292
福井県大飯郡高浜町宮崎 86-23-2
電話 /0770-72-7711 FAX/0770-72-2889
Mail/seisaku@town.takahama.fukui.jp
ホームページ <http://www.town.takahama.fukui.jp/>

まちの将来像

高浜町の10年後の将来像を「まちやひとの姿」と「人口」から描きます。

まちやひとの姿

くるむ つなぐ かがやく
 ~自然とともにある暮らし 若狭たかはま~

「まちやひとの姿」に込めたみんなで共有したい思い

青葉山や里山の緑、青い海、白く長い砂浜などの豊かな自然。先人から受け継いできた自然とともにある今の暮らしを誇りに感じ、そのよさを一人ひとりが守り高めて、将来へ伝えていきたい。

私たちは、人や地域のつながりや支えあいなどに暮らしの安心や住み心地のよさを感じています。これからも、誰もが、互いを尊重し認め合い、心豊かで健やかに、人や地域のあたたかさにくるまれ、そして、次の誰かをくんでいく、そんな多様な関わりを育み、つないでいきたい。

いくつになっても学びを通じて、誰もが自分らしく活躍でき、そして、自然環境や歴史、食などの“たかはまの魅力”を活かした、にぎわいにあふれ、交流盛んな、活力に満ちたまちを目指していきたい。



人口

町の将来人口
 (令和12(2030)年度)

9,100人

「高浜町まち・ひと・しごと創生ビジョン」で掲げた「将来展望人口」令和22(2040)年8,300人の人口維持を踏まえて設定。

協働と行政経営

将来像の実現に向けた3つの基本要件

住民主体のまちづくり

今暮らしす私たち、将来世代、さらには高浜町に関わる町外の人も含めたみんなが、それぞれに感じている高浜町への関心や愛着を大切に、まちづくりを「我がごと」として捉え、自分らしい関わりによって、より良いまちをつくっていくために行動していきます。

協働のまちづくり

人や地域が多様につながり合うことで、暮らしの安心感や住み心地のよさ、生活の質の向上につながります。まちをより良くしようとする多様な活動を通じて、誰もが生きがいを持って自分らしく活躍できる地域を目指すとともに、持続可能な地域としていくため、多様な行動主体が連携・協力する「協働のまちづくり」を進めていきます。

持続可能な行政経営

政策形成能力の強化や広域での連携強化、多様な主体との協働、また、新しいテクノロジーの活用等によって効率的で効果的な行政経営を進めます。また、住民ニーズを踏まえつつ、限られた資源の有効活用と適切な進行管理等により、確実な行財政運営を行います。「協働のまちづくり」の進展に向けて、各行動主体がより活動しやすい環境をつくるとともに活動の自立を支援します。

リーディングプロジェクト

将来像の実現に向けて、次の3つの視点からなるリーディングプロジェクトを設定します。

- ①分野を横断し、まちづくり全体を牽引する
- ②まちの魅力・活力の向上に資する
- ③総合戦略と整合する(人口減少対策の視点を含む)



分野別の施策 13分野

- ① 子ども・子育て
- ② 地域共生社会
- ③ 保健・医療
- ④ 住環境
- ⑤ 道路・交通
- ⑥ 環境衛生
- ⑦ 安全・防災
- ⑧ 自然環境
- ⑨ 農林水産
- ⑩ 商工観光
- ⑪ 生涯学習
- ⑫ 地域活動・交流
- ⑬ 行財政

リーディングプロジェクトの概要

	プロジェクト名	キーワード
1	地域でくるむ 暮らしよさ実感プロジェクト	くらしの充実(生活の質の向上)、人口減少対策、子育て支援、kurumu、健康のまちづくり、地域共生社会、地域での支え合い、生涯活躍のまち
2	多様な関わりでつなぐ 新たな連携・交流促進プロジェクト	コミュニティ維持、人や地域のつながり強化、協働のまちづくり、新たな連携、地域への愛着、交流・関係・活躍人口の交流促進
3	魅力を高めてかがやく 賑わい創出・産業再生プロジェクト	産業再生・産業創造、地域資源活用、賑わい創出、ICT・IoT・スマート化、人と仕事の好循環、多様な働き方、原子力との共生

1 地域でくむ暮らしよさ実感プロジェクト

今住んでいる人が暮らしの安心や住み心地のよさを実感していただくことを念頭に、子育て世代の負担軽減や子育て環境の向上をはじめ、多様なライフスタイルに応じた支援の充実を図るとともに、誰もが「地域の人との関わり」を感じながら、安心して健康に暮らせるまちづくりを推進し、地域での支え合いのもと、生涯を通じて自分らしく活躍できる機会や環境の整備を促進し、地域共生社会の実現に向けた取組みを進めます。

- 主な取り組み**
- 子育て世代の負担軽減 ●認定こども園の整備 ●新たな基幹公園の整備 ●社会福祉複合施設の整備
 - 住民主体の健康まちづくり活動の推進 ●地域医療の環境整備・地域医療の担い手育成 ●公共交通の利便性向上



2 多様な関わりでつなぐ新たな連携・交流促進プロジェクト

暮らしよさの実感に通じる、「自然とともにある暮らし」や「人や地域のつながりや支え合い」を保ちつつ、地域への愛着や地域ブランドの醸成を図ることで、地域の資源を活かした新たな連携や交流（交流人口・関係人口など）を創出し、多様な関わりによる協働のまちづくりを推進します。

- 主な取り組み**
- ブルーフラッグ認証取得と環境教育推進 ●薬草産地化推進 ●交流・関係・活躍人口の交流促進
 - 協働のまちづくりの推進 ●地域活動団体への支援 ●学校地域の連携促進 ●児童生徒のまちづくり参画



3 魅力を高めてかがやく賑わい創出・産業再生プロジェクト

豊かな自然や食などの地域の資源を磨きつつ、地域内の企業と人材のポテンシャル（潜在的な力）を高めることで、地域の特色を活かした新たな産業や魅力あるしごとを創出するとともに、高浜漁港エリアの再生をはじめとする地場産業の活性と観光拠点形成による賑わいの創出を通じて、未来につなげる人づくり、産業づくりを推進します。

- 主な取り組み**
- 6次産業施設の整備 ●漁港施設の更新支援 ●城山荘・城山公園の再整備 ●大規模園芸ハウスの就農・営農支援
 - 産業分野の人材育成・多様な働き方推進 ●創業支援・サテライトオフィスの誘致



分野別の施策 13分野

分野	めざす姿	施策
1 子ども・子育て	すべての子どもがその子らしく、未来に夢を描く力を備え、健やかに育っている	<ul style="list-style-type: none"> ●妊娠期からの切れ目のない支援の充実 ●安心して子育てができる環境づくりの推進 ●社会で活躍できる人材の育成 ●安全・安心で質の高い教育環境の整備
2 地域共生社会	誰もがその人らしく、いつになっても住み慣れた地域でともに支え合い、暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ●人権教育・啓発の推進 ●地域福祉の充実 ●高齢期を自分らしく暮らす取組の促進 ●介護等を必要とする人への支援の強化 ●障がいのある人への支援の充実
3 保健・医療	地域医療体制が守られ、一人ひとりが健康づくりに取り組み、誰もが健やかに安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ●健康づくりと疾病予防の推進 ●地域医療体制の充実 ●健康保険制度等の適切な運用
4 住環境	自然風土と調和した快適な住環境が保たれている	<ul style="list-style-type: none"> ●計画的な土地利用と市街地整備 ●良好な住宅と居住環境の確保
5 道路・交通	誰もが、安全かつ快適に、日常生活の不便なく道路や公共交通を利用できる	<ul style="list-style-type: none"> ●道路の整備と維持管理 ●公共交通の維持と利便性の向上
6 環境衛生	安心で快適な美しい生活環境が保たれている	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物の減量と資源化の推進 ●生活環境や衛生環境の保全 ●安全な水の安定供給と汚水の適正処理
7 安全・防災	防災、防火、防犯、交通安全などの取り組みが地域ぐるみで進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●地域防犯活動・交通安全活動の推進 ●地域防災の体制と基盤の強化 ●原子力安全対策の推進
8 自然環境	美しい自然が保たれ、「自然とともにある暮らし」が次世代に引き継がれている	<ul style="list-style-type: none"> ●海や里山の環境保全と活用 ●環境負荷低減に向けた取り組みの推進
9 農林水産	新技術を積極的に取り入れ、付加価値の高い地元産品が増えている	<ul style="list-style-type: none"> ●農業の振興 ●林業の振興 ●水産業の振興
10 商工観光	商工業・観光がもたらす“にぎわい”と“交流”にまちが活気づいている	<ul style="list-style-type: none"> ●商工業の振興 ●観光の振興 ●雇用機会の創出と人材の育成
11 生涯学習	仲間とともに学びを楽しんで、自分らしく活躍している	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習の充実 ●スポーツの振興 ●歴史文化の保全と活用
12 地域活動・交流	多様な地域活動を通じて地域の絆やつながりが育まれ、町に関わりや愛着を持つ人が増えている	<ul style="list-style-type: none"> ●地域活動の活発化と協働の推進 ●地域ブランド力向上とタウンプロモーションの推進
13 行財政	住民が行政サービスに満足し、持続可能な行政経営を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ●効果的で効率的な行政運営 ●財政の健全な運営 ●町有財産の適切な管理